

## 第1回東京都北区産業活性化ビジョン検討委員会 議事要旨

- 日 時：令和7年2月3日（月）13時30分～15時10分
- 場 所：北とぴあ15F ペガサスホール
- 出席者：中村委員、鈴木委員、田中光委員、熊倉委員、田村委員、鵜頭委員、丸野委員、溝口委員、畑川委員、油原委員、田中崇彦委員、佐藤委員、石塚委員、田中和江委員、中林委員、平山委員、佐脇委員、吉野委員、佐野委員、山岸委員、市川委員、雲出委員、田辺アドバイザー

### 1. 開会

### 2. 区長挨拶

### 3. 委員委嘱

### 4. 委員長・副委員長選出

### 5. 諮問

### 6. 委員紹介

### 7. 議事

#### (1) 検討委員会の運営について

#### (2) 北区産業の現状及び基礎調査の進捗報告

#### (3) 意見交換

##### (委員長)

- ・北区産業の現状及び基礎調査の進捗報告の説明に対し、皆様からご意見などあればご発言を頂きたい。
- ・また、北区の産業が将来どうあるべきか、どうあってほしいかについて、このような視点を取り入れた方がよいのではなど、自由な意見交換を行いたい。

##### (A 委員)

- ・前回ビジョンでは、KPIが設定されているが、これらについて、検証予定はあるのか。
- (事務局)
- ・お示しの部分については、現在調査中であり、後日お示ししたい。

##### (A 委員)

- ・加えて、廃業率に関する記載があったが、廃業理由については、ぜひ調べてもらいたい。地域全体として廃業はよくない側面もあるので、分かるなら理由は補足して頂きたい。

##### (事務局)

- ・そういったデータがあるのかも含めて、一度検討したい。

##### (B 委員)

- ・廃業理由については、数値などデータはないだろう。廃業理由については、後継者がいるが継がなかったのか、不本意ながら廃業してしまったなど、様々な理由はあるが、正確なところは分からない。

・そのため、事業者が廃業しようとする前に、金融機関としては様々な策を講じているのが現状である。

(C 委員)

・B 委員のご指摘のとおり、こういった理由で廃業したのかというデータはないだろう。  
・当社の取引先でも廃業は多い状況である。当社では顧客に定期的にアンケート調査を実施しており、後継者の有無も聞いているが、一定数は跡継ぎがない状況となっている。

(委員長)

・開業、廃業率については、北区の開業率が高く見えるが、東京都では 2030 年に開業率目標 12%を目指すことを表明している。

(D 委員)

・経済センサスからデータを取得しているが、2021 年との比較でよいだろうか。コロナの時期との比較になるので、新しいデータがあるなら更新できないか。

(事務局)

・データの有無は確認する。総務省統計局のデータにも様々な変更があるので、確実に更新できるものがありそうか確認したい。

(A 委員)

・外国人推計だが、現状値ですでに今後の推計値と同等の数となっている。掲載方法は検討できないか。

(事務局)

・最新データを確認する。

(E 委員)

・地域経済循環率は 103%くらいで、「入」と「出」がバランスしているという説明だったが、どう理解したらよいか。

(事務局)

・簡単に申し上げると、地域経済循環率は 100%が一つの境界になっており、100%超ならば地域外からの資本流入が超過、100%未満なら地域外へのキャッシュアウトが多いと理解して頂ければよいだろう。北区の 103%という数値は、ちょうど「入」と「出」が同じくらいでバランスしているということである。

(委員長)

・地方に行くとその数値が極端に低くなることも多い。例えば東北地方だと、地域経済循環率が 30%などもある。資本が地域外に流出しているところでは、こうしたことになりやすい。

(F 委員)

・商店街の高齢化は顕著であり、80 代の方もいるが、世代交代が必要である。企業のように、世代交代は必要であり、できるだけ次世代のトップにつないでいくところが重要だと思っている。

(委員長)

・もし、何か商店街における事業承継事例があれば、ご紹介いただきたい。

(G 委員)

・外国人の数について、外国人の国籍別情報や就労状況などのデータはあるか。

(事務局)

・厚生労働省の外国人雇用統計調査などにあるはずだ。

(H 委員)

・財政に占める産業経済費が 1.8%だが、この数字が高いのか低いのか分からない。他区はどうか。

(事務局)

- ・北区の産業経済費は1.7~1.8%程度であり、30数億円くらいだと思われる。教育や土木、福祉費などの割合が高くなっているが、これらは建物などハード整備などもあるので、金額的には大きくなりがちである。
- ・重要なのは産業経済費の「質」であり、他の区にあるが当区にはない施策もあるので、今回の検討委員会なども通じて、質をどう上げていくかは議論できるとよい。

(副委員長)

- ・地域経済循環率については、すでに北区は一定の循環があるので、産業振興施策の質の面、こういった面にフォーカスするかが大事だろう。

(I 委員)

- ・産業振興政策という点については、行政からの資金獲得よりも、ネットワークによる情報の交換による高付加価値を生む仕組みづくりが重要だと思っている。これまでの施策で良かったこと、課題点などを議論するのもよいだろう。

(J 委員)

- ・当社では働き方改革への対応の中で、東京都の働き方改革メニュー（コンサル派遣）を受けた。中小企業診断士や社会保険労務士などのアドバイスを受けたが、アドバイスだけでなく、実際の作業レベルまで支援してくれたのは良かった。
- ・あとは健康経営に向けた専門家派遣（東京都）も非常に良く、実際の作業レベルまで支援してくれた。

(委員長)

- ・起業経験者のみなさんについて、北区で利用したメニューはあるか。

(K 委員)

- ・ネスト赤羽を利用したが、精神的な面での創業支援なども大変助かった。税理士からも北区は創業関連の支援メニューが豊富だと思っている。

(L 委員)

- ・NPO 立ち上げ当初に観光協会を通じて、地域の方とつないでもらったのはよかった。産業振興課からの紹介などもあり、区の様々な支援や情報発信面での協力もあり、立ち上げ期の支援は非常に有難いものであった。

(委員長)

- ・製造業や非製造、商店街だと状況は違うかもしれないが、支援施策の状況はどうだろうか。

(M 委員)

- ・商店街へのイベント支援も回数に制限（2~3回）があり、区役所への提出資料や報告書も人手が足りず困っている。近隣の商店街からのヘルプがあれば、可能な限り支援するようにしているが、必要な情報が何をどこで得ることができるか、情報が整理されているとよい。

(委員長)

- ・大阪・阿倍野の商店街でも60⇒20店舗に組合員が減少したことで、事務処理が厳しいという声も多い。時代に即した方法を模索しても良いかもしれない。

(B 委員)

- ・足立区の支援として、人材採用に関して人材会社を使った場合、経費の50%を補助するものや、起業支援についても、周辺自治体と比べても拡充できる部分はあるだろう。創業時のメンタル面での支援や創業者同士のコミュニティの形成など、ソフト面での支援も重要だろう。

(C 委員)

- ・足立区による補助金については、当社の取引先でも使っている企業がいる。ただ、自前ですべて作成対応するのは難しいところもあり、外部の業者を使って申請する企業もいる。

- ・事業承継や創業については、よろず支援拠点など無償の相談機関もあるので、まずはそういったところから始めるのもありだろう。東京都にも事業承継促進事業があるので、それを利用するのもよいだろう。

(委員長)

- ・本日の議論だけでも、今後の部会におけるテーマ設定のヒントになる部分もあるだろう。
- (アドバイザー)
- ・行政もやりかたを変えていかないといけない。今回のようなデータだけに基づいて、他区の真似事のような計画を作っても仕方ない。
  - ・前回ビジョンの委員長は、金儲けではなく、日々の生活や地域活性化に向けて取り組む企業が大事だと思っている。そうした支援は大事だと思っている。国や都が豊富な支援メニューがあるので、そことの棲み分けもふまえて方向性を考えていく必要になる。
  - ・北区の創業支援にはこれまで多額の補助が投下されており、こういった分野に注力するかも含めて検討が必要である。

(委員長)

- ・頂戴した意見もふまえて、今後の部会での議論・内容を検討していきたい。

## 8. 今後のスケジュール

(事務局)

- ・第2回及び第3回検討委員会は4月に開催予定で、第2回及び第3回は各グループでの検討になる。

## 9. 閉会

以 上